

なぜ 英語が話せないの

〈38〉

会話上達法 第三部

文章の暗記が必要

やる気と努力も大切

英語がペラペラの鳥飼玖美子

さんは、同時通訳の世界に興味を持ち、上智大二年のときテレビ局に同時通訳者として起用された。やる気があるからチャンスが生まれ、道が開ける。

大牟田市の明光学園高校三年

で、合格率三一五割という最難関「英検一級」にパスした田代琴子さん(を)現在、上智大一年の場合も軌跡は似ている。英語に興味を抱いたのが明光

学園中等部(中学)に入ってから。担任の浦田新平先生から教科書を暗記して「らん」と勧め

く飲み込みの早い時期での留学とはいえ、英語にかける執念と頑張りも素晴らしい。

田代さんの前進は続く。高三では全日本青少年英語弁論大会に挑戦。アメリカでの生活体験を手とめ「一心」という題で五分

間スピーチ。高校英語弁論日本一に輝いた。この勢いで英文和

分けられた四つのクラスのうち、最上級の組で英語を勉強している。このクラスは、外国で生活して帰国した学生も多く「授業外の会話は英語と日本語が半々くらい」という環境。「日

つた仕事を運びたい」とヒトミを輝かせている。英会話上達法を田代さんに聞くと「第一に英語が好きになること。そのためには教科書、とくに中学校のやさしい文章を全



田代 琴子さん

られたのがきっかけだった。米国で生活したこともある浦田先生は、日本人には出来ない発音を細かく指導。「正しい発音には自信があった」と話す。

中学校のテキストは全部暗記

して、中二で英検三級、高二で同三級合格とトントン拍子。少

「でも英語に磨きをかけたい」との情熱が、高二で米イリノイ州シカゴのグレンバード・ウエスト高校への交換留学を実現させた。「米国では、知らない単語があつたり、早口で話す米国人関係者を驚かせた。

史の先生には困ったけど、すぐに慣れました」と琴子さん。若

本語より英語が達者の人もいて、私なんかただの人です」部暗記するのが早道」と指摘。英文は何度も何度も声を出して読み、英会話クラブに入れば、特に難しい学習をしなくても努力次第では、かなりの進歩が期待できる」と強調している。

田代さんは「次の目標は通訳検定一級試験の突破」と、新たな意欲をみせ「将来は英語を使